HONDA

Odyssey

マルチビューカメラシステム

オーナーズマニュアル

マルチビューカメラシステムとは

マルチビューカメラシステムは、運転席から死角となる部分を、モニターに映る画像で確認するシステムです。
このシステムを補助的に使用することで、右記のような場合に運転者の負担を軽減します。

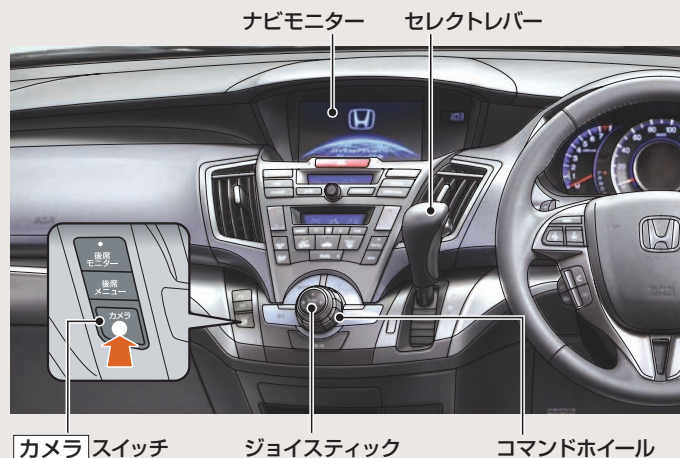
マルチビューカメラシステムの表示

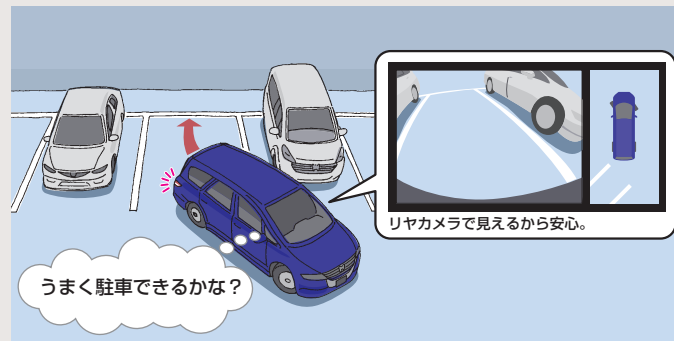
停車しているとき、前進しているとき

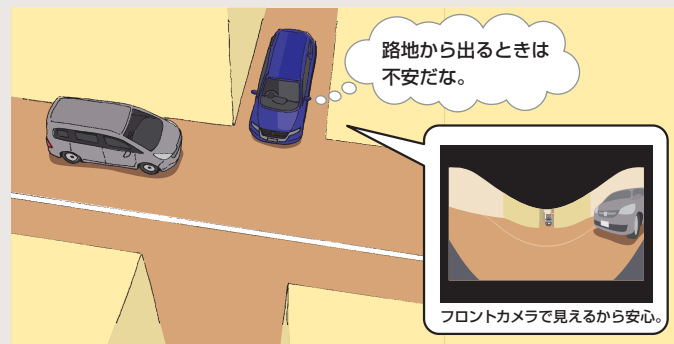
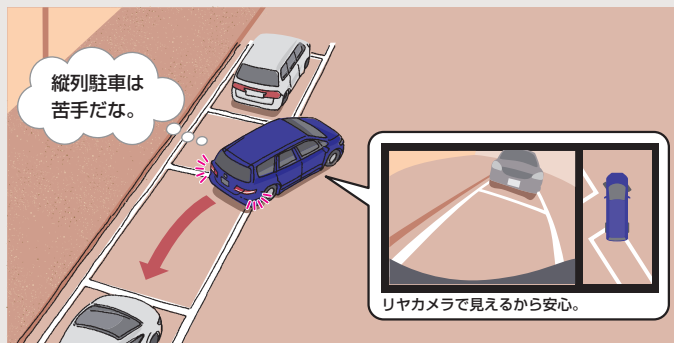
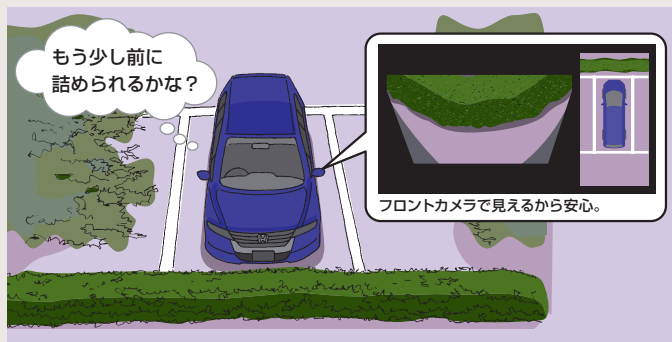
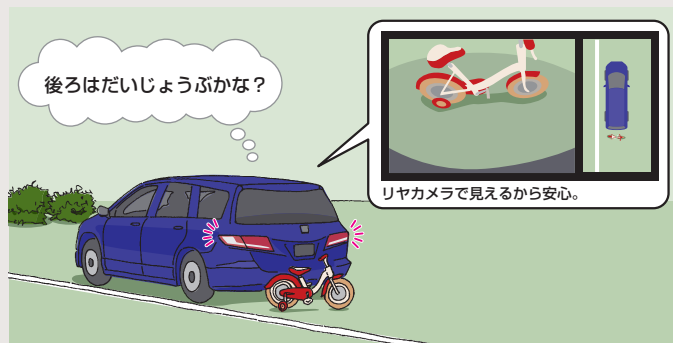
時速 12km 以下のとき、カメラスイッチを押します。

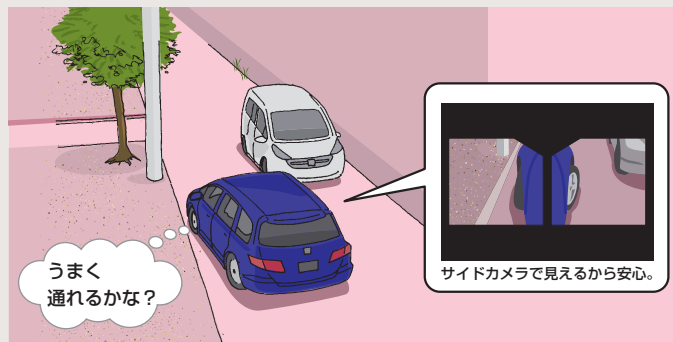
● 時速 15km 以上になると自動的にナビゲーション画面に切り換わります。

バックするとき

セレクトレバーを R に切り換えます。

枠線のある駐車場にバックで駐車する

➡P.8

見通しの悪い交差点で左右確認する

➡P.17

枠線のある駐車場に縦列駐車する ➡P.12

後方の障害物を確認する ➡P.16

前方の障害物を確認する ➡P.18

前方側面の障害物を確認する ➡P.19

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

⚠危険	指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至るもの
⚠警告	指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの
⚠注意	指示にしたがわないと、傷害を受ける可能性があるもの

その他の表示

お車に関することや、その他のアドバイスは下記の表示を使って記載しています。

アドバイス
お車のために守っていただきたいことや、安全のために守っていただきたいこと。
（車が故障・破損するのを防ぐためのアドバイス、安全のためのアドバイス、異常事態の処置方法を記載しています）

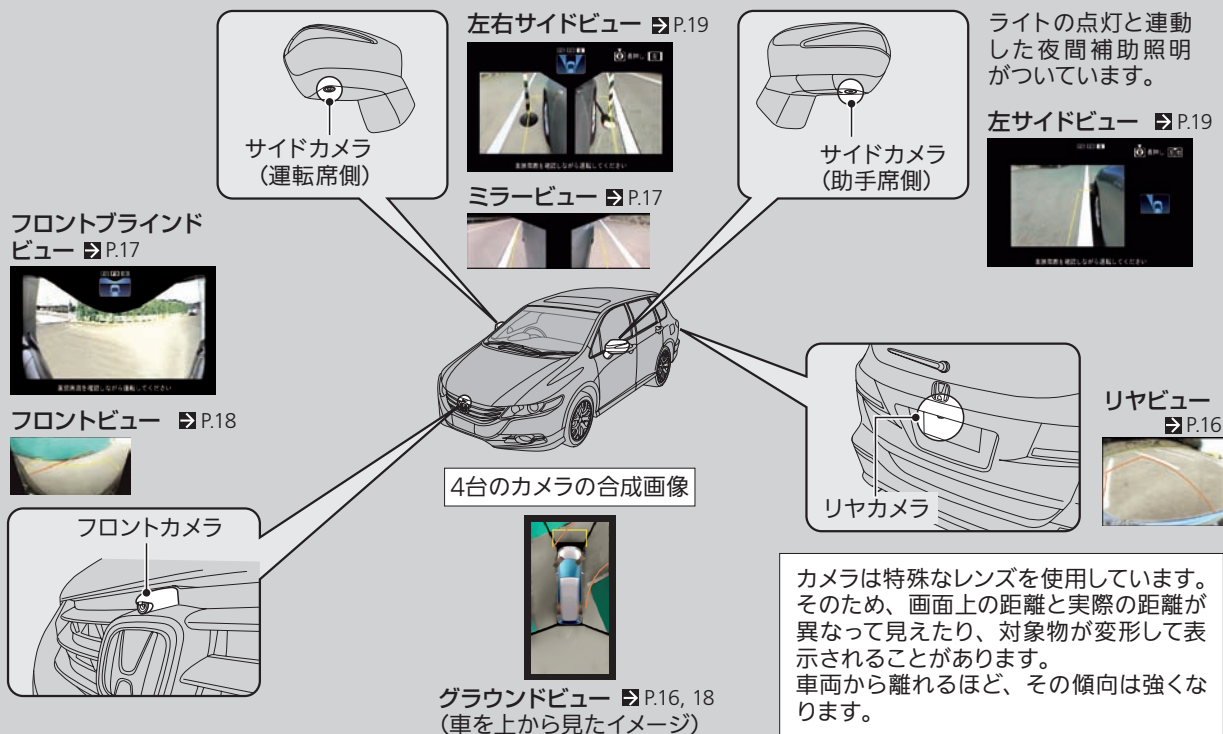
知識
知っておいていただきたいこと、知っておくと便利なこと。

マルチビューカメラシステムについて

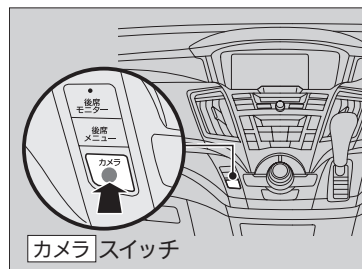
マルチビューカメラシステムは、運転操作の負担を軽減するためのものです。目視に加えて補助的に使用することで、運転席から死角となりやすい部分の状況を確認するために使用します。
マルチビューカメラシステムにも死角があるため、周囲の安全はマルチビューカメラシステムの画像だけに頼らず、目視やミラーなどで直接確かめてください。

目次

カメラの設置場所と画像について

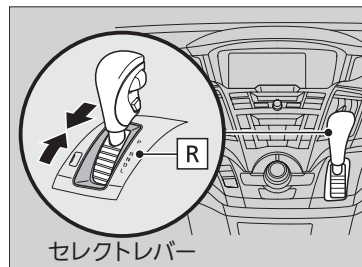
車両には 4 台のカメラが取り付けられています。それぞれのカメラの画像と、4 台のカメラの画像を合成したグラウンドビューがあります。また、昼間と夜間では画像の見え方が異なります。

画面を表示させるには

画面の表示方法は、下記の 2 通りです。

■ カメラスイッチによる表示操作

カメラ スイッチ

停車中または速度が 12km/ h以下のときに、カメラ スイッチを押します。

▶ 前方画面が表示されます。画面は、カメラ スイッチを押して切り換えます。

■ セレクトレバーによる表示操作

セレクトレバー

セレクトレバーを R に切り換えます。

▶ 後方画面が表示されます。画面は、カメラ スイッチを押して切り換えます。

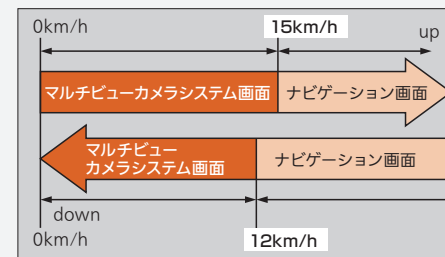
» 画面を表示させるには

ナビゲーションシステムの表示

マルチビューカメラシステム画面を表示中に、ナビゲーションシステムやオーディオを操作するとマルチビューカメラシステム画面が終了し、ナビゲーションシステム画面に切り換わります。

» カメラスイッチによる表示操作

速度に応じて画面は自動的に切り換わります。

マルチビューカメラシステム画面を表示中でも、速度が 15km/h を超えると自動的にナビゲーション画面に切り換わり、速度が 12 km/h以下になると自動的にマルチビューカメラシステム画面に戻ります。※1

15km/ h 以上での走行中にはマルチビューカメラシステム画面は表示されません。

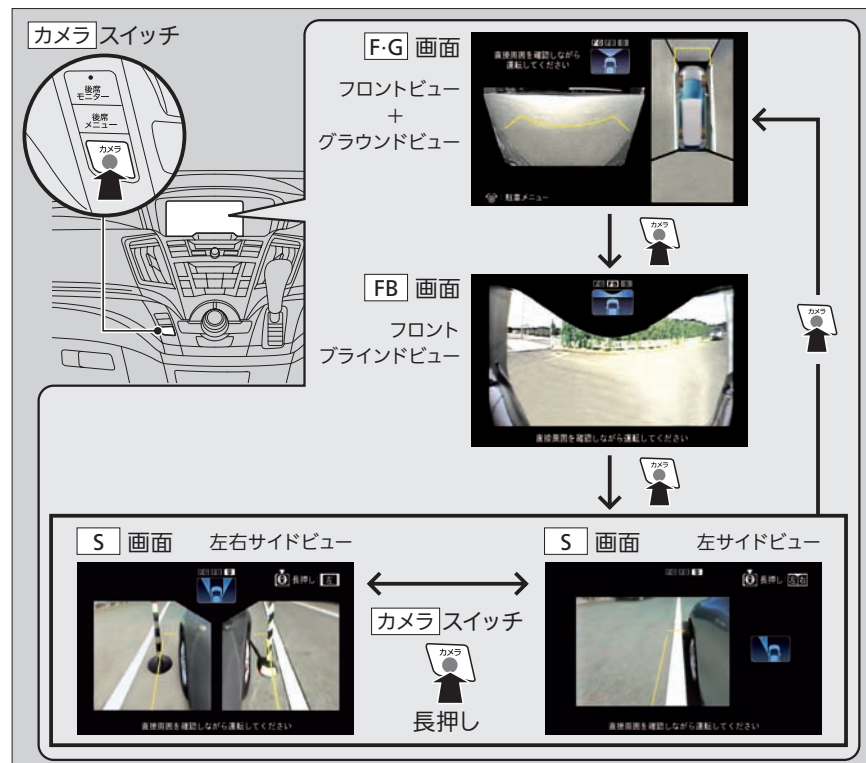
速度 15km/h以上のときに カメラ スイッチを押すと、マルチビューカメラシステム画面に切り換わりますが画像は表示されません。

※1 後方画面の場合は、速度に応じた画面の自動切り換えはありません。

マルチビューカメラシステムとは

画面の種類と画面の切り換え方法

画面はカメラ画像を組み合わせて表示します。必要に応じて切り換えて表示することができます。

前方表示（セレクトレバーが R 以外のとき）

≫画面の種類と画面の切り換え方法

知識

エンジンを始動後、カメラ スイッチを押すと、最初に F·G 画面が表示されます。

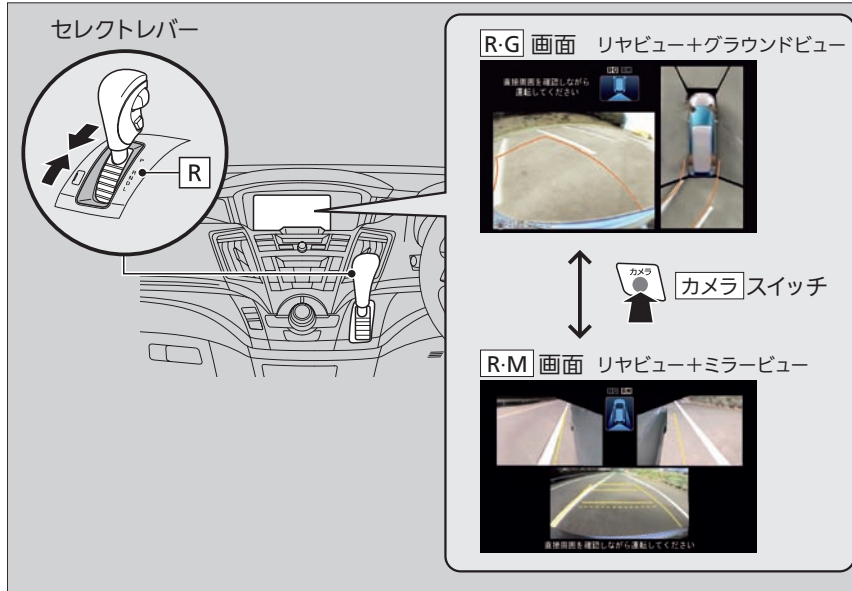
知識

画像には、車両からの距離イメージをつかむための目安ガイド線と、車両の動きをつかむための予測ガイド線が表示されます。
ガイド線設定でガイド線の表示 / 非表示を設定することができます。➡P.20

知識

ガイド線の示す位置とカメラ映像の表示は、車高の変化や路面の状態の影響で、実際の距離と異なることがあります。あくまでも目安としてお使いください。車高は次のような要因で変化します。
- 乗車人数
- スノーチェーンの装着
- 荷物の重さ
- サスペンションの改造
- タイヤサイズの変更
- タイヤの空気圧

雨や雪で濡れた路面など、路面が滑りやすくなっている場合は、タイヤのスリップにより、予測ガイド線と車の実際の動きにずれが生じる場合があります。

■ 後方表示（セレクトレバーが R のとき）

» 画面の種類と画面の切り換え方法

⚠注意

周囲の安全は、目視やミラーなどで直接確認する。

画面に表示される範囲には限界があり、人や障害物が映らないことがあります。そのため、画面だけを見ての運転は、思わぬ事故につながるおそれがあります。

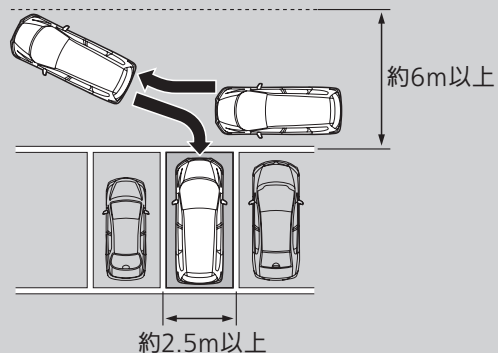
走行中の画面確認は最小限にする。

周囲の確認不足などで思わぬ事故につながるおそれがあります。

枠線のある駐車場にバック駐車するには

枠線のある駐車場では、マルチビューカメラシステムの駐車ガイド線を使ってバック駐車することができます。

駐車の前に

マルチビューカメラシステムのバックガイド線は、下図のような枠線のある駐車場でお使いいただけます。

■ バックガイド線の選択

1. 停車中に カメラ スイッチを押し、マルチビューカメラシステムを表示させる。

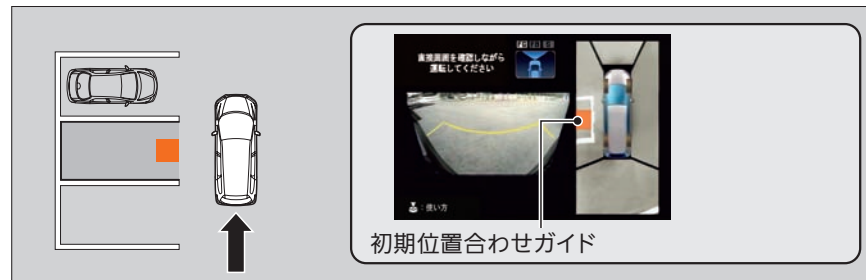
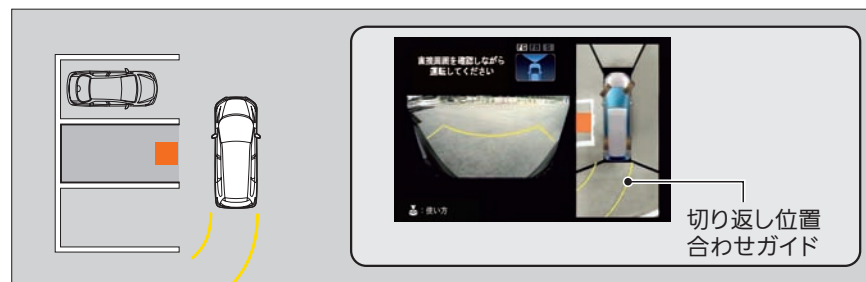
2. コマンドホイールを回し、駐車ガイド線メニュー画面を表示させる。

3. 駐車ガイド線メニュー画面で、左バックガイド線か右バックガイド線を選択する。

▶ 選択した方向の、バックガイド線が表示されます。

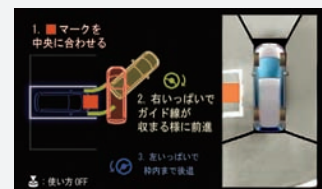
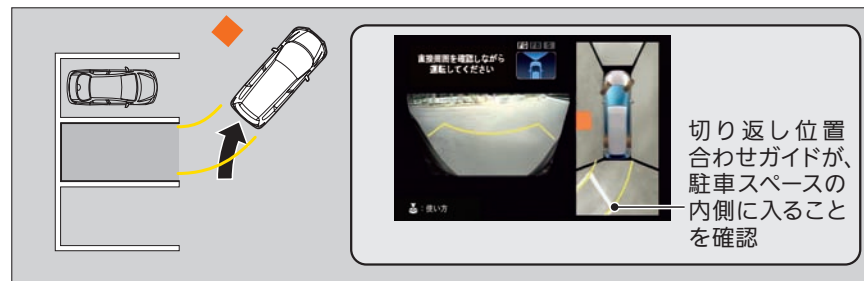
次ページに続く

■ 駐車のしかた

以下の説明は、左バックで駐車する場合の例を表示します。

1. 駐車スペースに対して直角に車両を前進させ、初期位置合わせガイドが駐車スペースの中央になるところで停止する。

2. 停止したまま右いっぱいにハンドルを切る。
▶ 切り返し位置合わせガイドが表示されます。

» 駐車のしかた

アドバイス

操作方法がわからない場合は、駐車ガイド画面表示中にジョイスティックを押すと、画面で「使い方」を確認することができます。
「使い方」画面を消すときは、もう一度ジョイスティックを押します。

3. ハンドルを切ったまま、ゆっくり前進する。

4. 画面の切り返し位置合わせガイドが、図のように駐車スペースに入ったら車両を停止する。

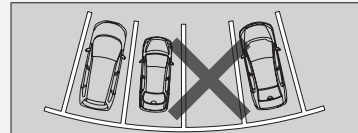
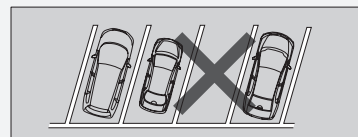
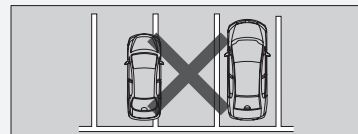
5. 停止したまま左いっぱいにハンドルを切り、そのままゆっくりバックする。
6. 車両が駐車スペースの枠と平行になったら、車両を停止する。
7. ハンドルをまっすぐな位置に戻し、適切な位置までバックし停止する。

≫駐車のしかた

知識

画面の切り返し位置合わせガイドが駐車枠からはみ出している場合は、駐車スペースが不足しています。

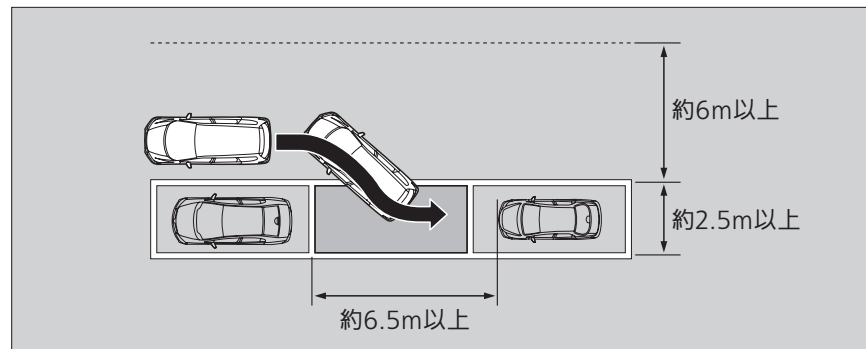
以下のような場所は適しません。

- 駐車スペースが斜めになっている

- 周囲の車両が駐車枠からはみ出している

枠線のある駐車場に縦列駐車するには

枠線のある駐車場では、マルチビューカメラシステムの駐車ガイド線を使って縦列駐車することができます。

■ 駐車の前に

マルチビューカメラシステムの縦列ガイド線は、下図のような枠線のある駐車場でお使いいただけます。

■縦列駐車の場合

駐車スペースによっては、１回で入らない場合があります。
その場合は、車両周囲を確認しながら車両の位置を調整し、駐車してください。

■ 縦列ガイド線の選択

1. 停車中に カメラ スイッチを押し、マルチビューカメラシステムを表示させる。

2. コマンドホイールを回し、駐車ガイド線メニュー画面を表示させる。

3. 駐車ガイド線メニュー画面で、左縦列ガイド線か右縦列ガイド線を選択する。
　▶ 選択した方向の、縦列ガイド線が表示されます。

マルチビューカメラシステムの使いかた

次ページに続く

■ 駐車のしかた

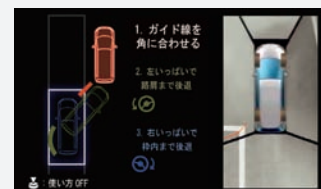
以下の説明は、左に縦列駐車する場合の例を表示します。

1. 駐車スペースに対して平行に車両を前進させ、初期位置合わせガイドが駐車スペースの前方角に重なったらいったん車両を停止する。

2. 停止したまま左いっぱいにハンドルを切る。
▶ 切り返し位置合わせガイドが表示されます。

≫駐車のしかた

アドバイス

操作方法がわからない場合は、駐車ガイド画面表示中にジョイスティックを押すと、画面で「使い方」を確認することができます。
「使い方」画面を消すときは、もう一度ジョイスティックを押します。

3. ハンドルを切ったまま、セレクトレバーを R にしてゆっくりバックする。

4. 画面の切り返し位置合わせガイドが、図のように駐車スペースの路肩に重なったら車両を停止する。

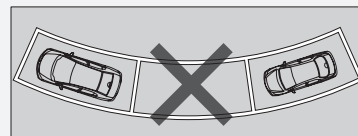
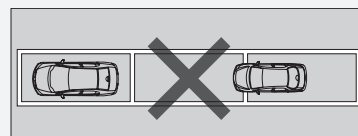
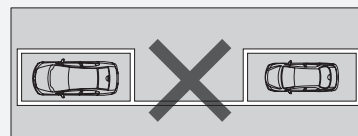
5. 停止したまま右いっぱいにハンドルを切り、そのままゆっくりバックする。
6. 車両が駐車スペースの枠と平行になったら、車両を停止する。
7. ハンドルをまっすぐな位置に戻し、適切な位置までバックし停止する。

≫駐車のしかた

アドバイス

前後に車両が駐車している場合は、車両との間隔を目視で直接確認してください。

以下のような場所は適しません。

- 駐車スペースが斜めになっている

- 周囲の車両が駐車枠からはみ出している

- 入れたい駐車スペースに枠線がない

後方の障害物を確認するには

バックで車庫入れするときなどに、障害物を確認する場合に、後方画面を表示させます。用途に応じて R·G 画面（リヤビュー＋グラウンドビュー）と R·M 画面（リヤビュー＋ミラービュー）を切り換えます。

■画面の意味と表示操作

セレクトレバーを R に切り換えます。
▶ R·G 画面が表示されます。

≫後方の障害物を確認するには

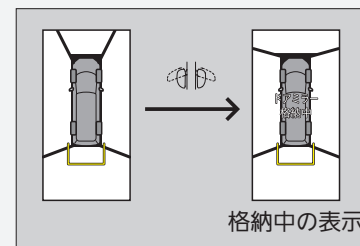
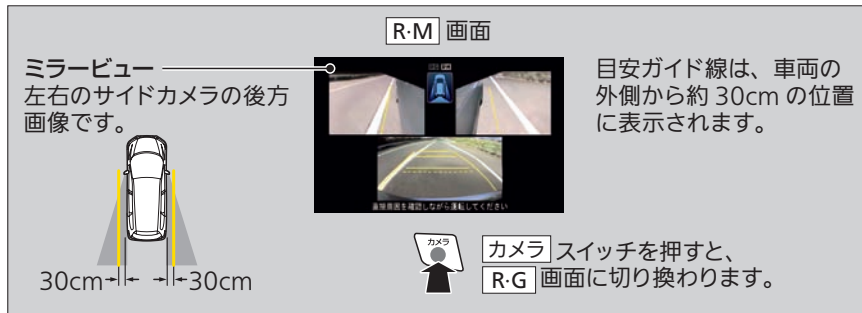
知識

ガイド線は、それぞれ設定により表示 / 非表示を選択することができます。➡P.20

ドアミラーを格納しても、４台のカメラがグラウンドビューを表示します。
ドアミラー格納中は、表示エリアおよび死角が異なりますので注意してください。

⚠注意

ドアミラーを格納した状態で走行しない。
ドアミラー格納中の映像は、駐車時の周辺状況確認のためにお使いください。

マルチビューカメラシステムの使いかた

見通しの悪い交差点で左右を確認するには

見通しの悪い交差点などで前方の左右を確認する場合に、FB 画面（フロントブラインドビュー）を表示させます。

■画面の意味と表示操作

車速 12km/ h以下のときに カメラ スイッチを押して切り換えます。

▶ FB 画面が表示されます。

》後方の障害物を確認するには

知識

ドアミラーを格納しているときは、ミラービューは表示されません。

》見通しの悪い交差点で左右を確認するには

知識

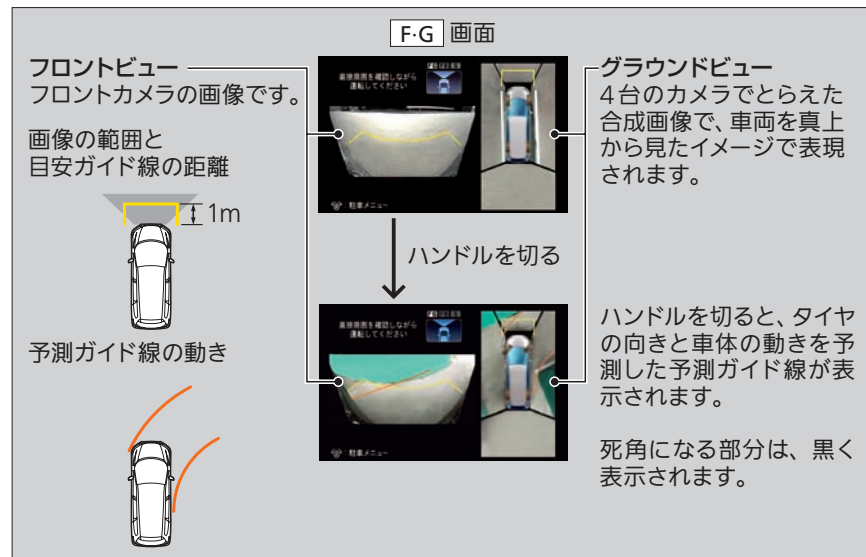
広い範囲を写すため、画像は大きくゆがんで表示されます。また、距離も実際とは異なる見え方をします。

FB 画面は、P.6 の順序で表示が切り換わります。

前方の障害物を確認するには

車庫入れなどで前方の障害物を確認する場合に、 F·G 画面（フロントビュー＋グラウンドビュー）を表示させせます。

■画面の意味と表示操作

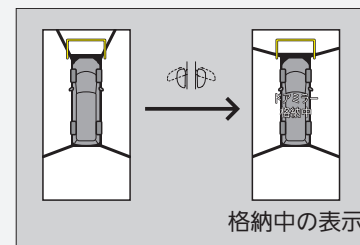
車速 12km/ h以下のときに カメラ スイッチを押して切り換えます。
▶ F·G 画面が表示されます。

≫前方の障害物を確認するには

知識

ガイド線は、それぞれ設定により表示 / 非表示を選択することができます。 ➡P.20

F·G 画面は、P.6 の順序で表示が切り換わります。

ドアミラーを格納しても、4台のカメラがグラウンドビューを表示します。
ドアミラー格納中は、表示エリアおよび死角が異なりますので注意してください。

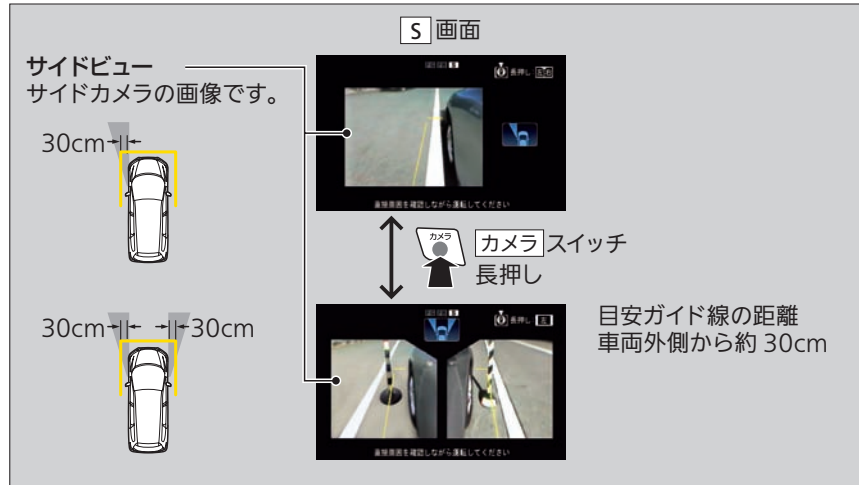
⚠注意

ドアミラーを格納した状態で走行しない。
ドアミラー格納中の映像は、駐車時の周辺状況確認のためにお使いください。

前方側面を確認するには

路肩や料金所に幅寄せしたり、狭い道でのすれ違いの際に車両側面を確認する場合に、S 画面（サイドビュー）を表示させせます。サイドビュー画面は、左サイドだけを表示させる左サイドビューと、左右のサイドを同時に表示させる左右サイドビューがあり、必要に応じて切り換えて使用してください。

■画面の意味と表示操作

車速 12km/ h以下のときに カメラ スイッチを押して切り換えます。

▶ S 画面が表示されます。

» 前方側面を確認するには

知識

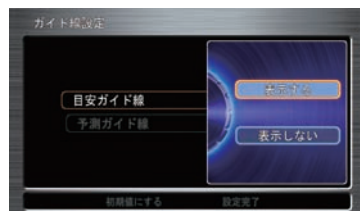
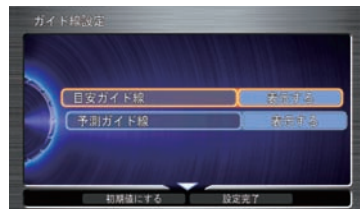
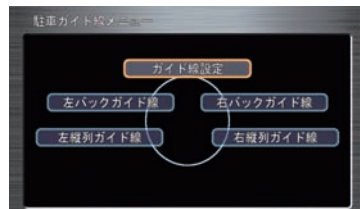
目安ガイド線は、設定により表示 / 非表示を選択することができます。➡P.20

サイドビューは、ドアミラーを格納しているときは表示されません。

S 画面は、P.6 の順序で表示が切り換わります。

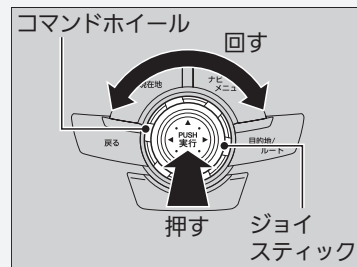
ガイド線の表示 / 非表示

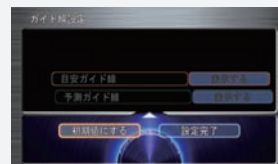
画面に目安ガイド線と予測ガイド線の表示 / 非表示を設定する操作です。

■画面の意味と表示操作

1. マルチビューカメラシステムの画面でコマンドホイールを回す。
   ▶ 駐車ガイド線メニュー画面が表示されます。
2. ガイド線設定 を選択し、ジョイスティックを押す。

3. コマンドホイールで変更する項目を選択し、ジョイスティックを押す。

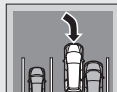
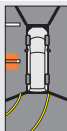
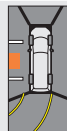
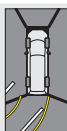
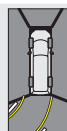
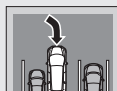
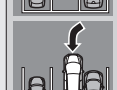
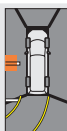
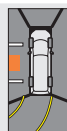
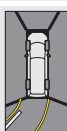
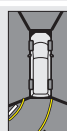
4. コマンドホイールで設定を選択し、ジョイスティックを押す。
   ▶ 次の画面で設定完了を選択し、終了する。

» ガイド線の表示 / 非表示

項目を選択するには、コマンドホイールを回して項目を選び、ジョイスティックを押して確定させます。

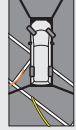
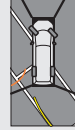
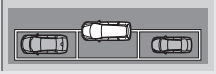
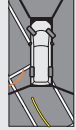
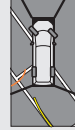
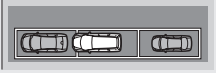
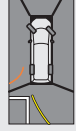
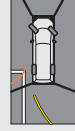
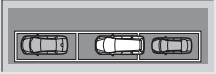
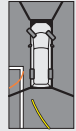
知識

「初期値に戻す」を選択すると、目安ガイド線と予測ガイド線を表示する設定になります。

画面調整のしかた

停車中に、画面調整することができます。

1. エンジンスイッチを II にして、カメラ スイッチを押す。
2. 画面スイッチを押す。
   ▶ 調整項目選択画面が表示されます。
3. コマンドホイールを回して調整したい項目を選び、ジョイスティックを押す。
   ▶ 調整項目が決定します。
4. コマンドホイールを回して調整する。

項目	調整
明るさ	：ー（暗い）←→＋（明るい）
コントラスト	：ー（弱い）←→＋（強い）
黒の濃さ	：黒←→灰
色の濃さ	：ー（薄い）←→＋（濃い）
色合い	：赤←→緑

5. 調整が終了したら、ジョイスティックを押す。
   ▶ 調整項目選択画面に戻ります。続けて調整することができます。
6. すべての設定が終了したら 設定完了 を選ぶ。

»画面調整のしかた

安全のため、エンジンを停止した状態で操作してください。

パーキングブレーキがかかっていることを確認してください。

駐車ガイド線を使ってバック駐車するとき

状態	考えられる原因	対処のしかた	参照ページ
外側にふくらむ	初期位置合わせガイドが駐車スペースに入る前にハンドルを切りませんでしたか？	• 初期位置合わせガイドが駐車スペースの中央に入ったら、車を停止してハンドルを切ってください。	バック駐車 P.8
	後退しているとき、切り返し位置合わせガイドが駐車スペースに入る前にハンドルを切り返しませんでしたか？	• 切り返し位置合わせガイドが駐車スペースに収まったら、車を停止してハンドルを切り返してください。	
	後退するとき、ハンドルをいっぱいに切っていましたか？	• ハンドルを切るときは、いっぱいに切ってください。	
内側に入る	初期位置合わせガイドが駐車スペースから出た後でハンドルを切りませんでしたか？	• 初期位置合わせガイドが駐車スペースの中央に入ったら、車を停止してハンドルを切ってください。	
	後退しているとき、切り返し位置合わせガイドが駐車スペースからはみ出しませんでしたか？	• 切り返し位置合わせガイドが駐車スペースに収まったら、車を停止してハンドルを切り返してください。	

駐車ガイド線を使って縦列駐車するとき

状態	考えられる原因	対処のしかた	参照ページ
奥に入る	後退しているとき、切り返し位置合わせガイドが駐車スペースの路肩からはみ出していませんでしたか？	• 切り返し位置合わせガイドが駐車スペースの路肩に重なったら、車を停止してハンドルを切り返してください。	➔縦列駐車 P.12
	後退するとき、ハンドルをいっぱいに切っていましたか？	• ハンドルを切るときは、いっぱいに切ってください。	
浅く入る	後退しているとき、切り返し位置合わせガイドが駐車スペースの路肩に重なる前にハンドルを切り返しませんでしたか？	• 切り返し位置合わせガイドが駐車スペースの路肩に重なったら、車を停止してハンドルを切り返してください。	
前の駐車枠に近すぎる	初期位置合わせガイドが駐車スペースにかかっていないときにハンドルを切りませんでしたか？	• 初期位置合わせガイドが駐車スペースの角にかかったら、車を停止してハンドルを切り返してください。	
後ろの駐車枠に近すぎる	初期位置合わせガイドが駐車スペースの中に入っていませんでしたか？	• 初期位置合わせガイドが駐車スペースの角にかかったら、車を停止してハンドルを切り返してください。	
	後退するとき、ハンドルをいっぱいに切っていましたか？	• ハンドルを切るときは、いっぱいに切ってください。	

こまったときは

カメラ画像について

状態	考えられる原因	対処のしかた	参照ページ
カメラの画像が見えにくい	次の場合は、画像が見えにくいことがあります。 • 夜間や雨の日、および暗い場所 • カメラのレンズに水滴や虫などがついた場合 • カメラのレンズに傷がついた場合 • カメラが高温になった場合 • 太陽の光など強い光がカメラに直接差し込んだ場合※1 ※1 強い光がカメラに差し込んだときに、光源の周囲が白くぼやけるハレーション現象や、光の筋ができるスミア現象が起きることがあります。	• 気象条件などでカメラの画像が見にくいときは、目視やミラーで直接確認してください。	–
カメラの画像が不鮮明	カメラのレンズが汚れていると、鮮明な画像が表示されません。	• レンズが汚れたときは、水や中性洗剤、ガラスクリーナーなどで汚れを拭き取ってください。 • なお、このときベンジンやシンナー、クレンザーなどの磨き粉類は絶対に使わないでください。レンズが損傷する原因となります。	–
カメラの位置がずれた	カメラの本体やその周辺部に、強い衝撃や力が加わったことが考えられます。	• カメラの本体やその周辺部に、強い衝撃や力を加えないでください。 • 万一、衝撃が加わった場合は、カメラの使用をやめてHonda販売店にご相談ください。	–
LEDレンズが汚れている	夜間補助照明のLEDレンズが汚れていると、十分な照明効果が得られず、夜間の視認性が悪くなる場合があります。	• LEDレンズが汚れたときは、水や中性洗剤などで汚れを拭き取ってください。 • なお、このときベンジンやシンナー、クレンザーなどの磨き粉類は絶対に使わないでください。レンズが損傷する原因となります。	–
路面反射の少ないものが見えにくい	夜間補助照明は、赤外線照明を用いているため、赤外線の反射が少ないものなどは見えにくい場合があります。	–	–

こまったときは

お車についてのお問い合わせ、ご相談は、まず、Honda販売店にお気軽にご相談ください。

お問い合わせ、ご相談は、全国共通のフリーダイヤルで下記のお客様相談センターでもお受け致します。

本田技研工業株式会社　お客様相談センター

フリーダイヤル　0120-112010（イイフレアイオ）

受付時間　9:00～12:00　13:00～17:00
〒351-0188　埼玉県和光市本町8－1

所在地、電話番号などが変更になることがありますのでご了承ください。

お車に関してお問い合わせいただく際は、お客様へ正確、迅速にご対応させていただくために、あらかじめ、お手元にお車の車検証をご準備いただき、下記の事項をご確認のうえ、ご相談ください。

① 車検証記載事項
車両型式、車台番号、エンジン型式、登録番号、登録年月日
② 車種名、タイプ名、走行距離
③ ご購入年月日
④ 販売店名

Odyssey

マルチビューカメラシステム

HONDA
The Power of Dreams

万一、異常や故障などの不具合が生じた場合は、Honda 販売店で点検整備を受けてください。
各所在地、電話番号については、別冊の「サービス網一覧」をご覧ください。

Honda ホームページにある検索ボックスに入力してください。

取説 検索

http://www.honda.co.jp/manual/
クルマ、およびインターナビシステム取扱説明書の最新情報をお伝えしています。

30SLEY00
00X30-SLE-Y002

Ⓨ (IN) 2000.2009.10.9

Ⓙ